

喜茂別町橋梁長寿命化修繕計画



令和 8 年 8 月 改訂

喜 茂 別 町

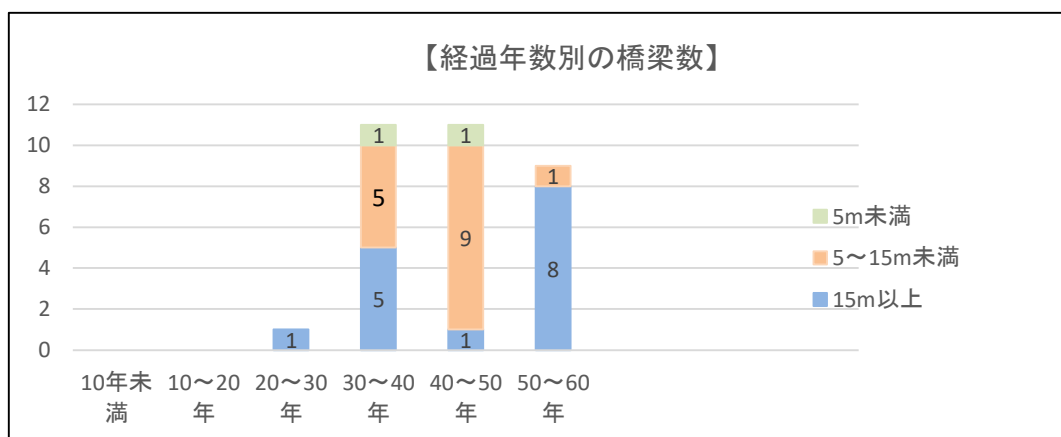
目次

1. 長寿命化修繕計画の背景と目的	1
(1) 背景	
(2) 目的	
2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁	2
(1) 長寿命化修繕計画対象橋梁	
(2) 喜茂別町管理橋梁一覧	
3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針	3
(1) 健全度の把握の基本的な方針	
(2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針	
4. 長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針	3
5. 長寿命化修繕計画による効果	4
6. 新技術等の活用方針	4
7. 費用縮減に関する具体的な方針	5
(1) 新技術等の活用	
(2) 費用の縮減	
(3) 集約・撤去などによる費用の縮減	
8. 計画策定担当部署	5

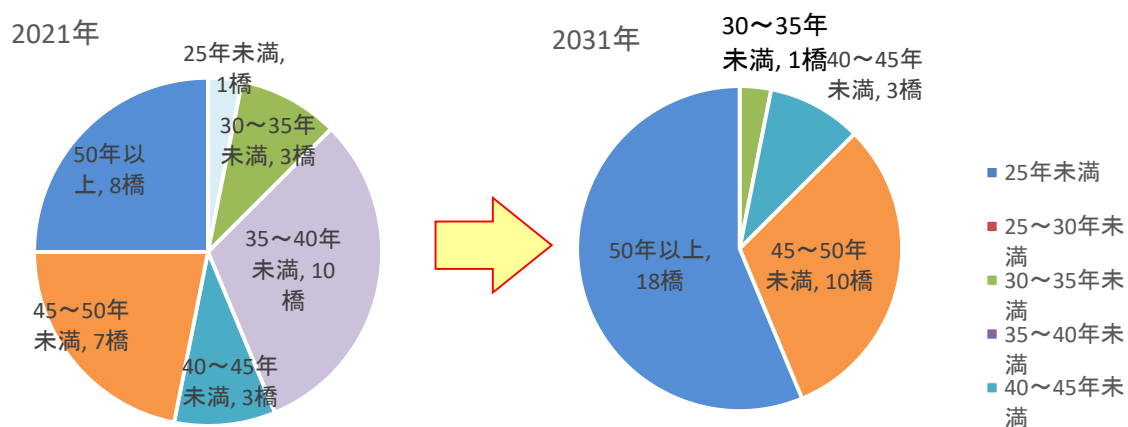
1. 長寿命化修繕計画の背景と目的

(1) 背景

- ・喜茂別町が管理する橋梁は、高度成長期以降に建設された橋梁が多く、今後、急速に高齢化が進むことにより、架替えや補修に要する維持管理コストが膨大となることが予想されます。
- ・このような背景から、限られた財源の中で効率的に橋梁を維持していくために、より計画的な維持管理を行う取り組みが必要不可欠となります。
- ・喜茂別町が管理している橋梁は、令和3年度末で32橋架設されています。このうち、建設後50年を経過する橋梁は、全体の25%を占めており、さらに20年後の令和23年度には、97%に増加することになります。



【今後10年間に於ける経過年数別橋梁割合の変化】



(2) 目的

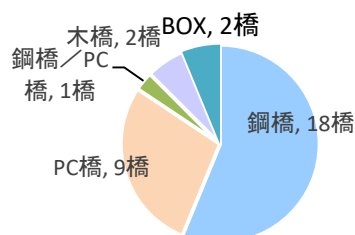
- ・損傷が大きくなってから対策を行う『事後保全』ではなく、定期的な点検により橋梁状態を把握し、損傷が大きくなるまでに予防的に補修を行う『予防保全』に転換し、橋梁の長寿命化と修繕に係る費用の縮減を図り、道路ネットワークの安全性・信頼性を確保することを目的としています。

2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁

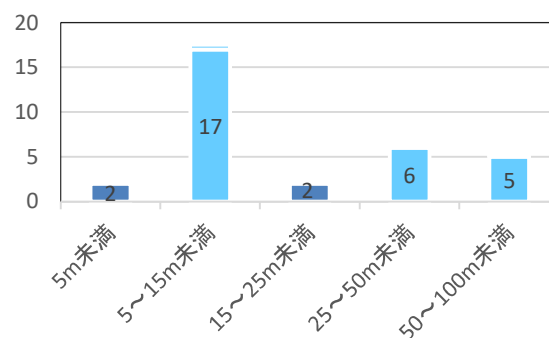
(1) 長寿命化修繕計画対象橋梁

	1級路線	2級路線	その他級路線	合計
全管理橋梁数	7	10	15	32
うち計画の対象橋梁数	7	10	15	32
うち令和4年計画策定橋梁数	7	10	15	32

【橋種別橋梁数】



【橋長区分別橋梁数】



(2) 喜茂別町管理橋梁一覧

施設諸元				点検結果及び点検計画			修繕計画			
橋梁名	路線名	架設年度	橋長(m)	点検年度	判定区分	次回点検年度	対策内容	着手(予定)年度	完了(予定)年度	全体概算事業費(百万円)
日鉄1号橋	日鉄線	1973	7.60	2022	Ⅱ	2027				
青川1号橋	栄3号線	1980	5.60	2022	Ⅰ	2027				
知来別2号橋	伏見中里線	1974	10.10	2021	Ⅱ	2026				
花丘橋	花丘知来別線	1974	13.65	2023	Ⅱ	2028				
花丘3号橋	花丘1号線	1983	7.70	2021	Ⅰ	2026				
花丘2号橋	花丘知来別線	1964	7.60	2022	Ⅰ	2027				
知来別4号橋	花丘知来別線	1975	5.50	2021	Ⅱ	2026				
知来別3号橋	鈴川知来別線	1964	8.70	2021	Ⅰ	2026				
知来別5号橋	福里知来別線	1983	6.00	2021	Ⅰ	2026				
目名橋	比羅岡1号線	1972	5.40	2021	Ⅰ	2026				
河田橋	中里1号線	1974	14.00	2023	Ⅲ	2028	【主桁】橋梁塗装工	2024	2025	18.6
名取橋	中里2号線	1982	13.55	2021	Ⅱ	2026				
千葉の沢橋	一二三橋線	1984	6.70	2023	Ⅰ	2028				
荘園1号橋	一二三橋線	1978	2.40	2023	Ⅰ	2028				
小出橋	共栄2号線	1988	8.40	2021	Ⅰ	2026				
堤橋	共栄2号線	1964	5.00	2021	Ⅰ	2026				
村界橋	共栄2号線	1983	5.00	2021	Ⅰ	2026				
福島1号橋	福島1号線	1987	2.77	2022	Ⅰ	2027				
金山1号橋	金山4号線	1978	9.40	2022	Ⅱ	2027				
尻別農地開発橋	尻別1号線	1971	20.40	2021	Ⅱ	2026				
知来別橋	伏見中里線	1970	46.60	2022	Ⅱ	2027	【支承】塗装塗替	2022	2022	22.5
一二三橋	一二三橋線	1967	81.00	2023	Ⅲ	2028	【支承】橋面防水工	2025	2026	60.0
福島橋	福島1号線	1985	26.85	2022	Ⅱ	2027				
相川橋	相川1号線	1968	96.00	2021	Ⅰ	2026				
喜茂別2号橋	幸町1号線	1984	59.00	2024	Ⅱ	2028				
黒橋	黒橋峠線	1982	16.65	2022	Ⅱ	2027				
尻別橋	尻別線	1971	81.10	2021	Ⅱ	2026				
信夫橋	福島1号線	1987	31.00	2022	Ⅱ	2027				
栄橋	栄1号線	1984	42.70	2022	Ⅱ	2027				
山田橋	中里1号線	1973	88.50	2023	Ⅱ	2028				
白鳥橋	金山1号線	1983	39.50	2023	Ⅱ	2028				
共栄橋	共栄1号線	1997	42.50	2023	Ⅱ	2028				

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

(1) 健全度の把握の基本的な方針

健全度の把握については、今後も定期的に点検を実施するとともに、橋梁の重要度などに応じて日常点検を実施し、橋梁の損傷を早期に把握します。

(2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

橋梁を良好な状態に保つため、日常的な維持管理として、パトロール、清掃などの実施に努めます。

4. 長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針

健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針とともに、予防的な修繕等を実施することにより、修繕・架替えに係る費用の事業費の大規模化及び高コスト化を回避し、ライフサイクルコストの縮減を図ります。

詳細点検結果に基づく橋梁の健全度把握及び損傷状況に応じて橋梁長寿命化修繕計画を見直します。

・対策の優先順位の考え方

補修優先順位は、診断結果および維持管理区分より決定する。

【維持管理区分の判定基準】

		決 定 根 拠	管 理 上 の 意 味
維持管理区分	A	市街地に架設している橋梁	積極的に予算を投入しても修繕を行なう重要な橋梁
	B	集落をつなぐ道路ネットワークを形成する橋梁 15m以上の橋梁	大きな損傷に至らないよう場合により修繕を行なう橋梁
	C	維持管理区分A・B以外の橋梁 耕作地等へ接続する橋梁	致命的な欠陥に至らないよう点検を基本とする橋梁

【損傷度総合判定】

損傷度		損傷程度の評価区分		一 般 的 状 況
総合評価		5段階評価	2段階評価	
 高	1	e	—	—
	2	d	有	—
	3	c	—	損傷が認められ、追跡調査を行う必要がある。
	4	b	—	損傷が認められ、その程度を記録する必要がある。
	5	a	無	点検の結果から損傷は認められない。
低				

【優先順位付け】

点検 健全度		維持管理区分		
		A	B	C
5	良	—	—	—
4	↑ ↓	—	—	—
3		⑥予防保全	⑧予防保全	⑨予防保全
2		④事後保全	⑤事後保全	⑦事後保全
1	悪	①大規模補修・更新	②大規模補修・更新	③大規模補修・更新

※ ○内の数字が優先順位
 ※ 維持管理区分Aの⑥予防保全を維持管理区分Cの⑦事後保全より優先している。

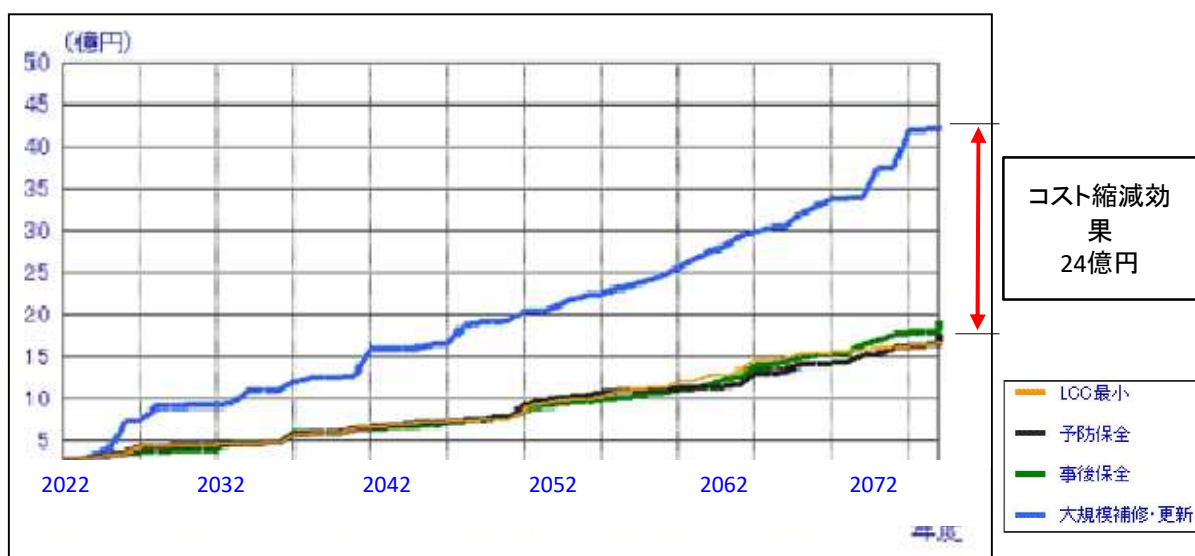
(2) 対象橋梁の状態

対象橋梁の点検・診断結果は、P2の喜茂別町管理橋梁一覧による。

5. 長寿命化修繕計画による効果

検討の結果、予防保全を導入することで、修繕および架替えに要する経費については、今後60年間で42億円→18億円(▲24億円)となり、約5割の縮減が見込まれます。

なお、上記の費用は現時点での試算であり、今後の損傷状態の変化などによる計画の見直しにより、変動することが考えられます。



6. 新技術等の活用方針

従来技術と新技術を比較検討し、有効なものは積極的に活用していくことで、従来技術から新技術へと技術の転換を図り、定期点検の効率化や高度化、修繕費用の省力化や費用縮減に努めます。

7. 費用縮減に関する具体的な方針

(1) 今後の老朽化対策に必要となる費用の縮減

ア. 新技術等の活用し、定期点検におけるコストの縮減を目指します。

イ. 修繕を必要とする橋梁の優先順位を設定し、維持管理に係るコストを縮減するとともに、予算の平準化を図ります。

ウ. 平成28年度から、市町村橋梁点検一括発注業務により、複数市町村で一括で実施することで、費用の削減を図っております。

【短期的な目標数値】

- ・令和10年度(3巡目点検期間)までに、2巡目点検(平成31年度から令和5年度まで)において橋梁点検車により点検を実施した橋梁について新技術等の活用を検討し、経済性を考慮し、次の新基準を考慮し点検費総額の約1割程度の120万円の縮減を目指します。

(2) 集約・撤去などによる費用の縮減

ア. 社会経済情勢や路線の利用状況の変化により、町道路線の精査が可能となる場合は、当該橋梁の集約・撤去を進め、コストの縮減を図ります。

イ. 大規模改修や更新が必要となった場合は、重要度や橋梁諸条件を精査し、コストの縮減を目指します。

【中長期的な目標数値】

本計画では、周辺環境や利用条件の変化、点検・修繕・更新等に要する中長期的な費用を考慮し、集約化・撤去について検討しました。

検討の結果、管理する橋梁2橋については、令和14年度までに撤去することにより、点検費用の120万円の費用削減を目指します。

なお、今後の利用状況や迂回路の有無等、撤去による社会的影響を精査し、地域住民や関係機関との意見交換を行いつつ、慎重に検討を進めていくものとする。

8. 計画策定担当部署

計画策定担当部署

喜茂別町 建設課

■ 問い合わせ先

喜茂別町建設課

郵便番号 040-0292 虻田郡喜茂別町字喜茂別123番地

電話番号 0136-33-2211(代表) FAX番号 0136-33-3577